令和９（２０２７）年度

学　生　募　集　要　項

愛知県立大学大学院　看護学研究科
博士前期課程（二次募集）

出　願　期　間　令和９（2027）年１月５日（火）～１月13日（水）
試　　験　　日　令和９（2027）年２月13日（土）
合格発表日　令和９（2027）年２月27日（土）
入学手続期間　令和９（2027）年３月３日（水）～３月８日（月）

愛知県立大学大学院
看　護　学　研　究　科

お知らせ

入学試験中止又は試験開始時刻変更等のお知らせについて

台風・雪・地震等による災害、試験実施上の事故などの事情により、試験が所定の期日に実施できない場合又は交通機関の乱れ等による試験開始時刻変更のお知らせは下記のサイトで情報提供します。
なお、再試験の場合は原則、その翌日以降に実施します。

【スマホ・携帯電話サイト（緊急連絡システム)】
URL https://daigakujc.jp/aichi-pu/ （携帯電話・スマートフォン・パソコンからアクセスできます。）

※携帯電話・スマートフォンで読み取れます。	

個人情報の取扱いについて

個人情報については、個人情報保護に関連する法令に基づき適切に管理します。

【利用目的について】
1　出願時に得た氏名・住所等の個人情報は、入学者選抜、合格者発表、入学手続事務を行うために利用します。
2　出願時に得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の改善のための検討資料の作成に利用します。また、入学者についてのみ、学務関係（学籍管理、学習指導等)、学生支援関係業務（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）を行うために利用します。
3　上記２の各種業務での利用に当たり、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行う場合は、受託者に託し、委託した業務の遂行のため必要となる限度内で個人情報を提供します。

【第三者への個人情報の提供】
取得した個人情報を本人の同意なく第三者に提供することはありません。
ただし、個人情報の保護に関する法令の定めるところにより、提供すべき義務を負う場合には本人の同意を得ることなく個人情報を提供することがあります。

安全保障輸出管理について

愛知県立大学では「外国為替及び外国貿易法」に基づき、国際的な平和及び安全の維持に寄与することを目的として「愛知県立大学安全保障輸出管理規程」を制定しました。外国人留学生等の受け入れに際して実施する事前確認の結果により、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますのでご注意ください。

〔問い合わせ先〕
愛知県立大学　守山学務課
〒463-8502
名古屋市守山区上志段味東谷
TEL: 052-778-7101　　Email: nyushi-moriyama@nrs.aichi-pu.ac.jp
※事務取扱時間は9：00～17：30です。土日祝年末年始（12/29～1/3）を除きます。

目　　次

Ⅰ　愛知県立大学大学院看護学研究科博士前期課程学生募集要項（二次募集）・・・・・・・・・・・・・・・ 2

Ⅱ　出願手続 ・・ 4

Ⅲ　出願、受験上の諸注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

Ⅳ　受験上及び修学上の配慮申請について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

Ⅴ　入学検定料 ・・・ 6

Ⅵ　入学試験 ・・ 7

Ⅶ　合格発表 ・・ 7

Ⅷ　入学手続・・ 8

Ⅸ　授業料 ・・・ 9

Ⅹ　入試結果の閲覧・・・ 9

Ⅺ　長期履修制度・・ 10

【募集要項２出願資格（９）】による出願資格の事前審査について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

【募集要項２出願資格（10）】による出願資格の事前審査について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

愛知県立大学大学院看護学研究科の案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

授業科目・担当教員一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

参考　履修ガイド ・・18

研究指導担当教員一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

入学願書記載例・・・22

入学願書等記入上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

スマホ・携帯電話サイトによる合格者受験番号情報の提供について・・・・・・・・・・・・・・・・・24

本学近辺における勧誘等にご注意ください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

愛知県立大学案内図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

Ⅰ　愛知県立大学大学院看護学研究科　博士前期課程　学生募集要項

1　専攻及び募集人員

専　攻	募集人員
看護学	若干名

募集する専門分野・研究分野（授業科目については13頁以降を参照してください。）

○看護基礎科学
　研究分野：基礎生体科学、基礎健康科学
○総合看護学
　研究分野：基礎看護学、看護教育学、看護管理学
○臨床看護学
　研究分野：成人慢性期看護学、成人急性期看護学、小児看護学
○広域看護学
　研究分野：地域・国際看護学、老年看護学、精神看護学
○ウィメンズヘルス・助産学
　研究分野：ウィメンズヘルス・助産学

専門看護師コースとして、成人慢性期看護学にがん看護専門看護師、小児看護学に家族看護専門看護師、老年看護学に老人看護専門看護師、精神看護学に精神看護専門看護師の教育課程があります。看護管理学には認定看護管理者コースがあります。また、ウィメンズヘルス・助産学には高度実践コースがあり、所定の科目の履修により助産師国家試験の受験資格を得ることができます。

2　出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

（1）日本の大学を卒業した者及び令和9（2027）年3月31日までに卒業見込みの者
（2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和9（2027）年3月31日までに授与される見込みの者
（3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
※「外国において、学校教育における16年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における16年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
（4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
（5）日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
（6）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものを受けたものに限る。）において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和9（2027）年3月31日までに授与される見込みの者
（7）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科の修業年限と当該専攻科に係る専門課程の修業年限とを合算した年数が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
（8）文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
（9）本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9（2027）年3月31日までに22歳に達するもの
（10）次のいずれかに該当する者であって、愛知県立大学の定める単位を優秀な成績で修得したと本学大学院が認めたもの
ア　大学に3年以上在学した者
イ　外国において学校教育における15年の課程を修了した者
ウ　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育に

おける15年の課程を修了した者

エ　日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

注１：出願資格（８）の文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）とは、旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者

注２：出願資格（９）、(10）に該当する者は、事前審査を行います（11ページ参照)。
該当者は、本学Webページから事前審査書類をダウンロードし、令和8（2026）年12月8日（火）までに提出してください。

注３：専門看護師コース又は認定看護管理者コースを希望する者は、本大学院の出願資格を満たすとともに、日本国の看護師免許を有し、当該領域において常勤看護師として３年以上の実務経験を有すること。
なお、専門看護師の資格は、当該コースを修了後、所定の実務研修を経て認定審査を受験することができます。また、認定看護管理者は日本看護協会が定める受験資格を満たせば、看護管理学研究コース・認定看護管理者コースのいずれのコースの修了でも受験することができます。詳細は本募集要項の看護学研究科（博士前期課程）の案内を参照してください。

注４：ウィメンズヘルス・助産学研究分野（高度実践コース）を希望する者は、本大学院の出願資格を満たすとともに、日本国の看護師免許を有する、または看護師国家試験の受験資格を有すること。

注５：社会人特別選抜に出願できる者は、上記の出願資格を有する者で、看護師、保健師又は助産師の免許を有し、看護関係業務の実務経験（准看護師の経験を含む）が10年以上あり、かつ研究課題を持ち、意欲的に学ぶ姿勢がある者。

３　出願書類

様式１～５及び出願用封筒貼付用紙は本学Webページからダウンロードしてください。
出願用封筒の作成方法は「Ⅱ　出願手続き」の「２　出願方法」(4ページ）を確認してください。

	提出書類等	摘　要
1	出願書類確認票（様式１）	
2	入学願書・受験票・照合写真票・入学検定料納付証明書貼付票（様式２）	A4 判用紙に片面印刷してください。 22 ページの記入例及び 23 ページの記入上の注意を参考にし、必須事項をもれなく記入してください。 写真≪出願前３か月以内に撮影した無帽上半身正面のもの（縦 4cm×横 3cm）、裏面に氏名を記入≫を所定の欄に貼付してください。 入学検定料納付証明書（大学提出用）を所定の欄に貼付してください。
3	入学検定料納付証明書 （大学提出用） ※（様式３）「入学検定料の振込依頼書内」	本学所定の「入学検定料の振込依頼書」（様式３）により振込をし、様式２の所定の欄に貼付してください。 入学検定料の詳細は、「Ⅴ　入学検定料」（６ページ）のとおりです。
4	個人調書（様式４）	本学所定の様式で作成してください。所定の様式は改変せず、A4 判用紙に片面印刷してください。 職歴がない場合は「なし」と記入してください。 日本語に限ります。
5	研究計画書（様式５）	本学所定の様式で作成してください。所定の様式は改変せず、A4 判用紙に片面印刷してください。 本学大学院で行いたい研究の抱負と研究計画を書いてください。 日本語に限ります。
6	卒業（見込）証明書	※本学（愛知県立看護大学・愛知県立看護短期大学を含む）卒業生は提出不要です。
7	成績証明書	出身大学の学長又は学部長が作成したものを提出してください。 ※本学（愛知県立看護大学・愛知県立看護短期大学を含む）卒業生は提出不要です。

8	返信用封筒 （受験票送付用）	市販の長形３号（120㎜×235㎜）封筒に**410円分の切手**を貼り、郵便番号、住所、氏名を記載してください。
9	看護師、保健師又は助産師免許の写し （該当者のみ）	社会人特別選抜に出願する者、および専門看護師コース又は認定看護管理者コースを希望する者で、最終学歴が一般大学の場合のみ提出してください。
10	出願資格認定書の写し （該当者のみ）	出願資格（９）（10）に該当する者は、本学大学院の事前審査の結果、送付された承認書の写しを添付してください。
11	戸籍抄本・住民票等 （該当者のみ）	各種証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、戸籍抄本・住民票など改氏名したことを証明できる書類をあわせて提出してください。

注１：外国の大学の卒業証明書及び成績証明書には、日本語訳を添付してください。
　　また、原本が一通しか発行されない場合は、出願時に写しを提出するとともに試験日当日の受付時に原本を持参してください（期限厳守）。
注２：外国人は、下記の書類、手続き等も別途必要となります。
①入学手続日までに「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」の定めるところにより、大学院入学に支障のない在留資格を取得してください。
②国籍を証明するもの
外国人登録原票記載事項証明書、パスポートのコピーなど。
③受入れの承諾等
指導を受けようとする教員の受け入れの承諾､若しくは受け入れが可能であることを示す書類又は電子メール等のコピーなど。
④外国の大学の卒業証明書及び成績証明書には、日本語訳を添付してください。
また、原本が一通しか発行されない場合は、出願時に写しを提出するとともに試験日当日の受付時に原本を持参してください（期限厳守）。

Ⅱ　出願手続

１　出願期間
令和9（2027）年1月5日（火）から令和9（2027）年1月13日（水）まで（最終日の17時までに必着のこと）

２　出願方法
出願用封筒を作成して出願書類を封入し、「書留速達郵便」で出願期間内に到着するように郵送するか、守山キャンパス学務課（大学院担当）まで持参してください。ただし、持参の場合は出願期間中の平日9時30分～17時までに提出してください。

【出願用封筒作成方法】
本学 Web ページから「出願用封筒貼付用紙」を印刷し、市販の角型２号（240㎜×332㎜）封筒にしっかりと貼り、必要事項全てを記入してください。
なお、書留郵便の配達状況は、発送時に郵便局から受け取る受領証に記載の「お問い合わせ番号」を用いて日本郵便 Web サイトの「郵便追跡サービス」で確認できます。

３　出願書類送付先
〒463-8502（個別郵便番号のため住所の記載は不要）
名古屋市守山区上志段味東谷　　愛知県立大学 守山学務課

４　受験票の発送
令和9（2027）年1月下旬発送予定
令和9（2027）年1月31日（日）になっても受験票が届かない時は「愛知県立大学 守山学務課」に電話で照会してください。

5　志望する研究指導担当教員との事前面談について

志願者は、令和8（2026）年12月16日（水）までに志望する研究指導担当教員（20,21ページ参照）に直接連絡をとり、必ず事前面談を受けてください。なお、教員の連絡先については以下のアドレスにお問い合わせください。

お問い合わせ：愛知県立大学 守山学務課（e-mail：nyushi-moriyama@nrs.aichi-pu.ac.jp）

ただし、Ⅰ募集要項 ２出願資格 （９）又は（10）に該当する者は、令和8（2026）年12月8日（火）までに入学試験出願資格認定申請書を提出してください。

なお、指導教員については、入学後に最終決定します。

Ⅲ　出願、受験上の諸注意

1　出願書類に不備、記載漏れのあるときは受理しません。また、出願書類の記載内容が事実と相違する場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

2　出願手続後は、書類の変更、検定料の払戻しは行いません。また、提出された出願書類は一切返還しません。

3　出願に際しての問い合わせは、守山学務課に電話又は郵便で行ってください。ただし、郵便での問い合わせには、必ず返信用封筒（住所、氏名、郵便番号を明記し、返信用切手110円分を貼付したもの）を同封してください。

4　住所を変更したときは、変更内容（連絡先電話番号も記入）を郵便で、速やかに守山学務課まで送付してください。

5　試験当日は、本学が交付した「受験票」及び筆記用具を必ず持参し、試験開始15分前までに試験室へ入室してください。なお、携帯電話等を時計として使用することはできません。

6　試験当日は、試験室等の案内を掲示しますので、それに従い入室してください。

7　試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始30分以内の遅刻に限り、受験を認めます（試験時間の延長は認めません）。ただし、面接試験は遅刻を認めません。

8　試験当日は、車の乗り入れができます。

9　昼食は各自持参してください。

Ⅳ　受験上及び修学上の配慮申請について

障害がある者等で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがある場合は、出願の前に必ず本学に申し出てください。

1　相談の方法

申請書（様式任意）及び健康診断書等必要書類を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談を行います。詳細については、本学Webページ「受験上の配慮申請」をご覧ください。

URL　https://www.aichi-pu.ac.jp/prospective/graduate/application.html

2　相談の時期

令和8（2026）年11月16日（月）まで

Ⅴ　入学検定料

1　入学検定料

30,000円

2　振込期間

令和8（2026）年12月16日（水）から令和9（2027）年1月13日（水）まで

ただし、出願書類は令和9（2027）年1月13日（水）17時本学必着であることを考慮の上、早めに振込んでください。

3　振込場所

別添の振込用紙により、全国の金融機関（普通銀行、信託銀行、商工組合中央金庫、信用金庫、信用組合、労働金庫、信用農業協同組合連合会、農業協同組合、信用漁業協同組合連合会及び漁業協同組合の各店舗）の窓口で、お振り込みください。

ＡＴＭ（現金自動預払機）は利用しないでください。なお、ゆうちょ銀行・郵便局及びコンビニでは取り扱いません。

4　振込方法等

（1）　入学検定料は、「入学検定料の振込依頼書」（様式３）をA4 判用紙に片面印刷したものを使用して振り込んでください。この振込用紙は、機械で処理しますので、汚したり、曲げたりしないでください。

（2）　「振込依頼書」の「ご依頼人」欄に志願者の氏名・住所・電話番号を、また「振込金受取書」及び「入学検定料納付証明書」の「ご依頼人」「氏名」欄には志願者の氏名を黒のボールペンで正確に記入してください。

（3）　振込を済ませたら、必ず「入学検定料納付証明書」の「出納済印」欄に金融機関の押印があることを確認してください。

（4）　振込用紙は、機械で処理しますので、汚したり、曲げたりしないでください。

（5）「入学検定料納付証明書」は、入学願書の「入学検定料納付証明書貼付欄」に貼付してください。

（6）　振込手数料は、志願者本人の負担となります。

（7）　納付した入学検定料は、還付しません。

5　振込依頼書の整理番号（コード）

	整理番号（コード）
看護学研究科（博士前期）	821

6　次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、令和8（2026）年12月7日（月）までに問い合わせてください。

（1）　生活保護法による被保護家庭の子弟である者

（2）　入学試験前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者

（3）　入学試験前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

問い合わせ先：学生支援課　（電話　0561-76-8828　平日9：00～17：30）

Ⅵ　入学試験

1　試験科目等
学力検査及び面接の得点並びに出願書類審査を総合して行います。なお、いずれかの得点が著しく低い場合は、合計得点にかかわらず不合格とします。

（1）　一般

	期日	試験科目（配点）	時間
学力検査	令和9（2027）年2月13日（土）	英語（100点）	10：30～11：30
		志望別看護学（100点）	12：00～13：00
面接		複数の面接員により、一人15分程度で実施します。（45点）	14：00～

注１：志望別看護学は日本語による試験です。
注２：面接は日本語により行います。
注３：英語については、英和辞書１冊のみ持ち込み可（ただし電子辞書は不可）とします。
注４：外国人留学生は、英語を日本語に替えることができます。希望者は出願時に、守山キャンパス学務課に申し出てください。
注５：面接は以下の項目について主に行います。
・大学院志望動機ならびに意欲
・専門領域での臨床（実習）経験や研究（卒業研究）内容
・専門領域での学修の計画

（2）　社会人特別選抜

	期日	試験科目（配点）	時間
学力検査	令和9（2027）年2月13日（土）	小論文（100点）	10：30～11：30
		志望別看護学（100点）	12：00～13：00
面接		複数の面接員により、一人15分程度で実施します。（45点）	14：00～

注１：小論文及び志望別看護学は日本語による試験です。
注２：面接は日本語により行います。
注３：面接は以下の項目について主に行います。
・大学院志望動機ならびに意欲
・専門領域での臨床（実習）経験や研究（卒業研究）内容
・専門領域での学修の計画

2　試験場（裏表紙の地図を参考にしてください。）
愛知県立大学　守山キャンパス　講義棟
名古屋市守山区上志段味東谷

Ⅶ　合格発表

令和9（2027）年2月27日（土）　14時（予定）

1　本学守山キャンパス管理棟正面玄関前に掲示するとともに、合格者に入学許可通知書を郵便で送付します。
2　電話等による問い合わせには、一切応じられません。
3　スマホ・携帯電話サイトによる合格者受験番号情報の提供については、最終ページを参照してください。

Ⅷ　入学手続

1　合格者は本学所定の入学料納入通知書により入学料を納付したうえで、手続期間内に角形２号封筒に所定の入学書類及び入学料納付証明書を同封し、「書留速達郵便」で郵送、もしくはレターパックプラスにより郵送で提出してください（金額は令和8（2026）年度入学生のものですので、改定されることがあります)。

なお、入学手続期間に入学手続を完了しない場合は、入学許可を取り消すことがありますので、郵送については所要日数を十分に考慮し、早めに発送してください。

また、入学手続を完了し、入学許可を得た人であっても出願資格において「見込み」で受験し、入学に必要な要件を令和9（2027）年3月31日までに満たせない場合は、入学許可を取り消します。

入学手続期間	令和9（2027）年3月3日（水）から令和9（2027）年3月8日（月） 最終日の17時までに必着
郵送先	〒463-8502（住所記載不要） 名古屋市守山区上志段味東谷 愛知県立大学　守山キャンパス学務課 ※専用の出願封筒貼付用紙を使用すること
入学料	282,000円
問合せ先	守山キャンパス学務課 電話052-778-7101
入学手続書類等	入学料納付証明書 誓約書・身元引受書（保証人２名が必要）（本学所定用紙） 就学承諾書（入学日に在職中の人で入学後も現在の身分を継続される方は、就学に専念できるよう、所属長の「就学承諾書」を提出すること。） 返送用封筒(レターパックライト)、宛名明記　１通 【社会人特別選抜】で入学する人は看護師、保健師又は助産師のいずれかの主たる免許証の写し　１枚

※愛知県公立大学法人授業料等徴収規程第7条に基づき、納付した入学金は還付しません。

2　入学料の減免について、次のいずれかの項目に該当する場合に、申請により入学料の一部又は全部が免除されることがあります。詳細については、令和9（2027）年3月2日（火）までに問い合わせてください。

（1）　生活保護法による被保護家庭の子弟である者

（2）　入学前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学料の納付が極めて困難になった者

（3）　入学前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学料の納付が極めて困難になった者

※２の内容については、今後変更する可能性があります。

問い合わせ先：学生支援課　（電話　0561-76-8828　平日9：00～17：30）

Ⅸ　授業料

1　授業料（金額は令和8（2026）年度入学者の金額ですので改定されることがあります。）

期　　別	授　　業　　料	納付期限
前期（ 4月1日～9月30日）	267,900円	4月30日まで
後期（10月1日～3月31日）	267,900円	10月31日まで

2　次のいずれかの項目に該当する場合に、申請により授業料の一部若しくは全部が免除又は徴収延期になることがあります。（徴収延期は一般・社会人のみ）
　なお、項目は改定されることがあります。

【一般・社会人】
（1）生活保護法による被保護家庭の子弟である者
（2）経済的理由により授業料の納付が困難な者
（3）申請期限前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、授業料の納付が極めて困難になった者
（4）申請期限前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、授業料の納付が極めて困難になった者

　詳細については、本学Webページ（https://www.aichi-pu.ac.jp/）の「学生生活」→「入学料・授業料の減免」にある制度概要「授業料免除制度について」（PDFファイル）をご覧ください。

【外国人留学生】
　最短在学期間で修了できる見込みがある者。詳細については、問い合わせてください。

※２の内容については、今後変更する可能性があります。
　問い合わせ先：学生支援課　（電話　0561-76-8828　平日9：00～17：30）

3　その他の必要経費
・学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険料
・研究・演習・実習のための経費等

Ⅹ 入試結果の閲覧

　個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、愛知県立大学大学院入学試験の結果については、口頭により受験者本人が自己の入試結果の閲覧を求めることができます。（本人以外は不可）

1　閲覧請求ができる範囲
　学力検査の科目別得点（英語又は小論文、志望別看護学）

2　閲覧請求ができる期間
　期間は令和9（2027）年3月1日（月）から3月31日（水）までの１か月間（ただし、土曜日、日曜日、国民の祝日は受付できません。）

3　閲覧の受付を行う場所及び時間
　愛知県立大学　守山学務課（午前9時から午後5時まで。ただし、合格発表日は発表時刻から）

4　閲覧請求に必要な書類
　本学大学院受験票及び身分証明書等

5　閲覧の方法
　閲覧によってのみ行います。写しの交付は行いません。

6　その他
　電話、E-mail、郵便等による問い合わせには応じません。

Ⅺ　長期履修制度

1　長期履修制度とは

この制度は、現職看護師など職業を有する等の事由により、通常の修業年限（2年）で修了することが困難な場合、２年を超えて一定の期間（最長４年）にわたり計画的に教育課程を履修して修了するなど、大学院における多様で柔軟な学習機会を提供し、社会人の大学院での学びを支援することを目的としています。

2　長期履修を申請できる方

職業を有し就業している方（自営業を含む、常勤・非常勤を問わない）や、育児又は親族の介護を行う必要のある方を対象としています（ただし、修学に支障を及ぼさない範囲のものは除外）。

3　授業料（年額）

授業料は、３年ないし４年で履修する場合でも、通常の修業年限（２年）で履修し納める場合と総額は同じで、次のとおりとなります。

定められた金額　×　標準修業年限（２年）　÷　許可された修業年限

（参考）①修業年限が４年で許可された者の授業料の年額（令和8（2026）年4月1日現在）

535,800円　×　２年　÷　４年　＝　267,900円（年額）

②修業年限が３年で許可された者の授業料の年額（令和8（2026）年4月1日現在）

535,800円　×　２年　÷　３年　＝　357,200円（年額）

4　申請方法

合格者に対し、あらためて長期履修制度の案内をします。

5　申請期限

合格者に対し、別途郵送にて案内します。

6　長期履修の可否と通知

申請者に対し、入学前までに郵送にて結果を通知します。

7　志望する研究指導担当教員との事前面談について

申請にあたり、研究等のスケジュールに支障がないかどうか、指導を志望する研究指導担当教員へ事前にご相談ください。

8　長期履修制度についての問い合わせ先

愛知県立大学 守山学務課　　（電話　052-778-7101　平日9：00～17：30）

【募集要項２出願資格（９）】による出願資格の事前審査について

本出願資格による志願者については、下記１の要件を満たすかどうか事前審査を行います。

1　出願資格（９）とは、以下の各号全てに該当する者とします。
（１）日本国の看護師免許を有し、看護師としての実務経験が５年以上であること。
（２）筆頭者として発表（公刊）した論文、または筆頭者として査読のある学会で発表した研究の抄録の提出があること。
　なお、短期大学、専修学校（４年未満の専門課程）又は専門学校を卒業した者は、この手続きにより事前審査を受ける必要があります。
2　出願資格の事前審査
本学Webページから以下の事前審査書類をダウンロードし、令和8（2026）年12月8日（火）までに提出してください。
（事前審査書類は愛知県立大学Webページ（https://www.aichi-pu.ac.jp/）トップページの「受験生の方（入試情報）」→「入試募集要項」→「大学院事前審査申請書類」からダウンロードしてください。）
（１）　入学試験出願資格認定申請書（所定の様式）
（２）　履歴書（市販のもの）
（３）　論文または抄録のコピー（出典が分かるよう、表紙などを添付。日本語以外の場合は日本語の要約を添付）
（４）　返信用封筒（事前審査の結果を通知するので、長形３号封筒に410円分の切手を貼り、志願者の住所・氏名・郵便番号を明記したもの）
（５）　その他本研究科が必要とする書類
3　事前審査の結果については上記２（4）の返信用封筒により、本人あて通知します。
なお、出願資格があると認定された者は、出願期間中に出願書類を書留速達郵便で郵送してください（必着）。

【募集要項２出願資格（10)】による出願資格の事前審査について

本出願資格による志願者については、下記１の要件を満たすかどうか事前審査を行います。

1　出願資格（10）とは、次の（１）又は（２）の要件を満たす者をいいます。
（１）　大学において3年以上在学している者
ア 在学期間について
出願時に大学に3年以上在学している者及び令和9（2027）年3月31日までに大学在学期間が3年に達する見込みの者
イ 修得単位について
令和9（2027）年3月31日において、90単位以上修得する見込みであること。
ウ 成績評価について
令和9（2027）年3月31日において、修得単位の2分の1以上が「優」又はＡ以上の評価（点数評価の場合は、80点以上）を得る見込みであること。
（２）　外国において学校教育における15年の課程を修了した者
（１）に準じて取り扱う。（外国の証明書については和訳を添付すること）
2　出願資格の事前審査
本学Webページから以下の事前審査書類をダウンロードし、令和8（2026）年12月8日（火）までに提出してください。（事前審査書類は愛知県立大学Webページ（https://www.aichi-pu.ac.jp/）トップページの「受験生の方（入試情報）」→「入試募集要項」→「大学院事前審査申請書類」からダウンロードしてください。）
（１）　入学試験出願資格認定申請書（所定の様式）
（２）　履歴書（市販のもの）
（３）　成績証明書
（４）　卒業（見込み）証明書
（５）　返信用封筒（事前審査の結果を通知するので、長形３号封筒に410円分の切手を貼り、志願者の住所・氏名・郵便番号を明記したもの）
（６）　その他本研究科が必要とする書類
3　事前審査の結果については、上記２（５）の返信用封筒により、本人あてに通知します。
なお、出願資格があると認定された者は、出願期間中に出願書類を書留速達郵便で郵送してください（必着）。
4　入学試験（筆記及び面接）の結果、合格となった者は令和9（2027）年3月31日までに在学大学（学部）長が発行する成績証明書（3年次修了時までの成績が記載されたもの）を提出すること。

5　入学試験（筆記及び面接）で合格と判定されても、令和9（2027）年3月31日において上記１（１）ア、イ、ウ又は（２）の条件を満たさない場合は、合格としません。

6　本出願資格により入学する者は、在学している大学を退学することになります。

　従って、国家試験及び種々の資格試験等の受験資格で、大学卒業を要件としているものについては、受験資格が得られなくなります。

愛知県立大学大学院看護学研究科の案内

博士前期課程には、専門分野として、看護基礎科学、総合看護学、臨床看護学、広域看護学、ウィメンズヘルス・助産学をおき、各専門分野は１～３の研究分野によって構成されます。各研究分野は研究コースを開設し、看護管理学研究分野には認定看護管理者コースを、成人慢性期看護学、小児看護学、老年看護学及び精神看護学研究分野には専門看護師コースを、ウィメンズヘルス・助産学及び地域・国際看護学研究分野には高度実践コースを開設します。

博士前期課程では優れた看護研究者、看護教育者を育成すると共に、高度な専門知識と実践力を備え看護実践の指導的役割を担うことができる人材を育成します。

看護学研究科博士前期課程

専門分野	看護基礎科学	総合看護学	臨床看護学	広域看護学	ウィメンズヘルス・助産学
研究分野	基礎生体科学 基礎健康科学	基礎看護学 看護教育学 看護管理学1)	成人慢性期看護学2) 成人急性期看護学 小児看護学3)	老年看護学4) 精神看護学5) 地域・国際看護学6)	ウィメンズヘルス・助産学7)
専　門　科　目					
共　通　科　目					

注）研究分野に設置した認定看護管理者コース、専門看護師コース及び高度実践コースの教育課程

認定看護管理者コース　1)認定看護管理者

専門看護師コース　2)がん看護専門看護師　3)家族看護専門看護師　4)老人看護専門看護師　5)精神看護専門看護師

高度実践コース　6)所定の科目62単位を修得すると保健師国家試験受験資格を得ることができる。

7)所定の科目62単位を修得すると助産師国家試験受験資格を得ることができる。

【アドミッションポリシー】

看護学研究科博士前期課程では、上記の目的達成のため、次のような学生を求めています。

○看護学の高い専門知識・技術を学修する意欲と倫理観を持ち、看護実践の質向上に寄与する意志を有する人

○看護学の基礎知識と総合的な学力を有し、柔軟で論理的な思考をもって研究を遂行することができる人

※また、選抜試験における求める学生像については大学Webページ内の「大学院看護学研究科アドミッションポリシー」をご確認ください。

【専門看護師・認定看護管理者について】

○専門看護師

日本看護協会による専門看護師制度として、

①看護系大学院修士課程修了者で日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の所定の単位（総計26単位または38単位）を取得していること。

②実務研修が通算5年以上あり、うち3年間以上は専門看護分野の実務研修であること。

※本学では、平成26（2014）年度から専門看護師カリキュラムにおける履修単位を38単位に変更しました。

○認定看護管理者

日本看護協会による認定看護管理者として、看護師免許を取得後に実務経験が通算5年以上あり（そのうち通算3年以上は看護師長相当以上の看護管理経験があること。）、次の①か②のいずれかの要件を満たしている者が認定看護管理者認定審査を受けることができます。

① 認定看護管理者教育課程サードレベルを修了している者

② 看護管理に関連する学問領域の修士以上の学位を取得している者

【愛知県立大学大学院博士後期課程入学試験における学力試験免除者選考制度について】

愛知県立大学大学院博士後期課程に学内進学を志望する博士前期課程在学生および3年以内の修了生に対し、大学院博士後期課程入学試験における学力試験を免除する学力試験免除者選考制度があります。

授業科目・担当教員一覧１　令和8（2026）年度

区分	専門分野	研究分野	コース	授業科目	単位数	配当年次	開講時期	担当教員
共通科目				看護理論	2	1・2	後期	山田浩雅教授・片岡純教授・井村香積教授・牛島佳代准教授・佐藤美紀准教授
				看護倫理	2	1・2	前期	藤野あゆみ教授・片岡純教授・服部淳子教授・山田浩雅教授・籠玲子講師・非常勤講師
				看護管理論	2	1・2	前期	河邉紅美教授・宇城令准教授・賀沢弥貴講師
				コンサルテーション論	2	1・2	後期	山田浩雅教授・非常勤講師
				医療ポルトガル語	2	1・2	前期	スエナガエウニセ准教授(教養教育センター)
				看護学研究方法概論	2	1・2	前期	深田順子教授・池俣志帆准教授・片岡純教授・宇城令准教授・牛島佳代准教授・片岡由美子教授
				看護学質的研究法	2	1・2	前期	片岡純教授・神谷摂子教授・非常勤講師
				多変量解析論	2	1・2	前期	箕浦哲嗣教授
				調査研究法	2	1・2	前期	非常勤講師
				臨床薬理学	2	1・2	前期	池田義明非常勤講師・池俣志帆准教授・広瀬会里准教授・山田浩雅教授・汲田明美准教授
				フィジカル・アセスメント	2	1・2	前期	片岡純教授・広瀬会里准教授・山田浩雅教授・池俣志帆准教授・片平正人教授
				病態生理学	2	1・2	前期	黒川景教授・片岡純教授・服部淳子教授
専門科目	看護基礎科学	基礎生体科学	研究	感染看護論	2	1・2	後期	吉野直人教授
				腫瘍病態学	2	1・2	前期	黒川景教授
				ヒト分子遺伝学	2	1・2	前期	黒川景教授・黒田喜幸講師
				基礎生体科学演習・実習・実験	6	1	通年	黒川景教授・吉野直人教授・黒田喜幸講師
				基礎生体科学特別研究	8	1～2	通年	黒川景教授・吉野直人教授
		基礎健康科学	研究	運動生理学	2	1・2	前期	非常勤講師
				家族社会学	2	1・2	後期	牛島佳代准教授・服部淳子教授
				疫学	2	1・2	前期	成定明彦教授
				ヘルスプロモーション論	2	1・2	前期	青柳美樹教授・田辺幸子准教授・三浦康平講師
				看護人間工学	2	1・2	後期	箕浦哲嗣教授
				基礎健康科学演習・実習・実験	6	1	通年	箕浦哲嗣教授・成定明彦教授・牛島佳代准教授・三浦康平講師
				基礎健康科学特別研究	8	1～2	通年	箕浦哲嗣教授・成定明彦教授・牛島佳代准教授
	総合看護学	基礎看護学	研究	基礎看護学特論	2	1・2	後期	井村香積教授
				看護援助・技術論	2	1・2	後期	佐藤美紀准教授
				基礎看護学演習・実習・実験	6	1	通年	井村香積教授・佐藤美紀准教授・西尾亜理砂講師・籠玲子講師・林恵里子講師・西澤和義講師
				基礎看護学特別研究	8	1～2	通年	井村香積教授・佐藤美紀准教授
		看護教育学	研究	看護教育学特論	2	1・2	後期	井村香積教授
				教育学特論	2	1・2	前期	非常勤講師
				専門職教育論	2	1・2	前期	井村香積教授・非常勤講師
				看護教育学演習・実習・実験	6	1	通年	井村香積教授・西尾亜理砂講師・林恵里子講師
				看護教育学特別研究	8	1～2	通年	井村香積教授
		看護管理学	研究	看護政策論	2	1・2	後期	宇城令准教授・非常勤講師
				看護経済・経営論	2	1・2	後期	宇城令准教授・非常勤講師
				看護管理学演習・実習・実験	6	1	通年	宇城令准教授・賀沢弥貴講師
				看護管理学特別研究	8	1～2	通年	宇城令准教授
			認定看護管理者	人的資源活用論	2	1・2	前期	河邉紅美教授・宇城令准教授・賀沢弥貴講師・非常勤講師
				看護組織ダイナミックス論	2	1・2	後期	河邉紅美教授・宇城令准教授・非常勤講師
				人的資源管理実習	2	1	後期	河邉紅美教授・宇城令准教授・賀沢弥貴講師
				医療の質・安全管理実習	2	2	前期	河邉紅美教授・宇城令准教授・賀沢弥貴講師
				財務管理実習	2	2	前期	河邉紅美教授・宇城令准教授・賀沢弥貴講師
				看護管理学総合研究	4	1～2	通年	河邉紅美教授・宇城令准教授

区分	専門分野	研究分野	コース	授業科目	単位数	配当年次	開講時期	担当教員
専門科目	臨床看護学	成人慢性期看護学	研究	成人慢性期看護学特論	2	1・2	後期	片岡純教授・広瀬会里准教授
				成人内科系疾病論	2	1・2	後期	片平正人教授
				成人慢性期看護学演習・実習・実験	6	1	通年	片岡純教授・片平正人教授・広瀬会里准教授・尾沼奈緒美講師
				成人慢性期看護学特別研究	8	1～2	通年	片岡純教授・片平正人教授・広瀬会里准教授
			専門（がん看護師）	がん看護理論	2	1・2	前期	片岡純教授
				がん看護援助論	2	1・2	前期	片岡純教授・広瀬会里准教授・非常勤講師
				緩和ケア特論	2	1・2	前期	片岡純教授・非常勤講師
				緩和ケア方法論	2	1・2	後期	片岡純教授・広瀬会里准教授・非常勤講師
				がんリハビリテーション方法論	2	1・2	後期	片岡純教授・非常勤講師
				がん看護学導入実習	2	1	後期	片岡純教授・広瀬会里准教授
				がん看護学展開実習	2	2	前期	片岡純教授・広瀬会里准教授
				がん診断・治療学実習	2	2	前期	片岡純教授・広瀬会里准教授
				がん緩和ケア・地域連携実習	2	2	前期	片岡純教授・広瀬会里准教授
				がん看護学統合実習	2	2	前期	片岡純教授・広瀬会里准教授
				がん看護学総合研究	4	1～2	通年	片岡純教授・広瀬会里准教授
		成人急性期看護学	研究	成人急性期看護学特論	2	1・2	前期	深田順子教授･石光芙美子准教授
				術後侵襲論	2	1・2	後期	深田順子教授・黒田喜幸講師
				周術期がんリハビリテーション看護論	2	1・2	後期	深田順子教授・石光芙美子准教授・森香津子助教・非常勤講師
				成人急性期看護学演習・実習・実験	6	1	通年	深田順子教授・石光芙美子准教授
				成人急性期看護学特別研究	8	1～2	通年	深田順子教授・石光芙美子准教授
		小児看護学	研究	小児看護学特論	2	1・2	前期	服部淳子教授・汲田明美准教授
				養育期家族アセスメント・援助論	2	1・2	後期	服部淳子教授・汲田明美准教授・清水いづみ講師・非常勤講師
				小児看護学演習・実習・実験	6	1	通年	服部淳子教授・汲田明美准教授・清水いづみ講師
				小児看護学特別研究	8	1～2	通年	服部淳子教授・汲田明美准教授
			専門（家族看護師）	家族看護学特論	2	1・2	前期	服部淳子教授・汲田明美准教授・清水いづみ講師・非常勤講師
				家族と健康	2	1・2	前期	服部淳子教授・広瀬会里准教授・汲田明美准教授・清水いづみ講師・非常勤講師
				家族療法	2	1・2	前期	服部淳子教授・兒玉善明助教・非常勤講師
				家族看護援助論	2	1・2	後期	服部淳子教授・汲田明美准教授・非常勤講師
				家族看護学実践実習	4	1	後期	服部淳子教授・汲田明美准教授・清水いづみ講師
				家族看護学機能別実習	4	2	前期	服部淳子教授・汲田明美准教授・清水いづみ講師
				家族看護学総合実習	2	2	後期	服部淳子教授・汲田明美准教授・清水いづみ講師
				家族看護学総合研究	4	1～2	通年	服部淳子教授・汲田明美准教授

区分	専門分野	研究分野	コース	授業科目	単位数	配当年次	開講時期	担当教員
専門科目	広域看護学	老年看護学	研究	老年看護学特論	2	1・2	前期	藤野あゆみ教授・池俣志帆准教授
				老年医学特論	2	1・2	前期	池俣志帆准教授・成定明彦教授・非常勤講師
				老年看護学演習・実習・実験	6	1	通年	藤野あゆみ教授・池俣志帆准教授
				老年看護学特別研究	8	1～2	通年	藤野あゆみ教授・池俣志帆准教授
			専門（老年看護師）	高齢者生活評価論	2	1・2	前期	藤野あゆみ教授・池俣志帆准教授
				老年看護家族関係論	2	1・2	後期	藤野あゆみ教授・非常勤講師
				在宅老年看護援助論	2	1・2	前期	藤野あゆみ教授・高畑陽子教授・深田順子教授・非常勤講師
				認知症高齢者援助論	2	1・2	後期	藤野あゆみ教授・池俣志帆准教授・非常勤講師
				老年看護学高度実践実習	4	1	後期	藤野あゆみ教授・池俣志帆准教授・竹内佳見助教
				在宅老年看護学実習	2	2	前期	藤野あゆみ教授・池俣志帆准教授・竹内佳見助教
				老年看護学統合実習	4	2	前期	藤野あゆみ教授・池俣志帆准教授・竹内佳見助教
				老年看護学総合研究	4	1～2	通年	藤野あゆみ教授・池俣志帆准教授
		精神看護学	研究	精神看護学特論	2	1・2	前期	山田浩雅教授
				カウンセリング論	2	1・2	前期	河村諒准教授・山田浩雅教授・加藤宏公講師
				精神看護学演習・実習・実験	6	1	通年	山田浩雅教授・河村諒准教授・加藤宏公講師
				精神看護学特別研究	8	1～2	通年	山田浩雅教授・河村諒准教授
			専門（精神看護師）	臨床精神看護学特論	2	1・2	前期	山田浩雅教授
				精神健康評価論	2	1・2	後期	山田浩雅教授・加藤宏公講師
				精神看護援助論	2	1・2	前期	山田浩雅教授・加藤宏公講師・非常勤講師
				臨床精神医学	2	1・2	前期	非常勤講師
				精神薬理学	2	1・2	後期	非常勤講師
				心理・社会的療法	2	1・2	前期	山田浩雅教授・河村諒准教授・加藤宏公講師
				急性期精神看護論	2	1・2	後期	山田浩雅教授・加藤宏公講師・非常勤講師
				地域精神看護論	2	1・2	後期	山田浩雅教授・加藤宏公講師・非常勤講師
				精神看護学治療技術実習	2	1・2	後期	山田浩雅教授・加藤宏公講師
				精神看護学導入実習	2	2	前期	山田浩雅教授・加藤宏公講師
				精神看護学直接ケア実習	4	2	前期	山田浩雅教授・加藤宏公講師
				急性期精神看護学実習	2	2	前期	山田浩雅教授・加藤宏公講師
				地域精神看護学実習	2	2	前期	山田浩雅教授・加藤宏公講師
				精神看護学統合実習	1	2	後期	山田浩雅教授・加藤宏公講師
				精神看護学総合研究	4	1～2	通年	山田浩雅教授

区分	専門分野	研究分野	コース	授業科目	単位数	配当年次	開講時期	担当教員
専門科目	広域看護学	地域・国際看護学	研究	地域看護学特論	2	1・2	前期	髙畑陽子教授・青柳美樹教授
				国際看護学特論	2	1・2	前期	田辺幸子准教授・非常勤講師
				在宅ケア論	2	1・2	後期	髙畑陽子教授・青柳美樹教授・山田浩雅教授
				老年保健福祉政策論	2	1・2	後期	池俣志帆准教授・髙畑陽子教授
				精神保健医療システム論	2	1・2	後期	山田浩雅教授・青柳美樹教授
				地域・国際看護学演習・実習・実験	6	1	通年	髙畑陽子教授・青柳美樹教授・田辺幸子准教授・横山加奈講師
				地域・国際看護学特別研究	8	1〜2	通年	髙畑陽子教授・青柳美樹教授・田辺幸子准教授
			高度実践	公衆衛生看護学特論	2	1	前期	青柳美樹教授・髙畑陽子教授
				対象別保健指導論	2	1	前期	髙畑陽子教授・青柳美樹教授・田辺幸子准教授・横山加奈講師・非常勤講師
				特定集団支援論	2	1	前期	髙畑陽子教授・横山加奈講師・非常勤講師
				保健指導技術演習	2	1	後期	青柳美樹教授・髙畑陽子教授・田辺幸子准教授・横山加奈講師・伊藤裕子講師・長谷川奈々子助教
				コミュニティ・アセスメント演習	2	1	後期	髙畑陽子教授・青柳美樹教授・田辺幸子准教授・横山加奈講師・伊藤裕子講師・長谷川奈々子助教
				公衆衛生看護管理論	2	2	前期	青柳美樹教授・髙畑陽子教授・非常勤講師
				保健医療福祉行政論	2	1	前期	非常勤講師
				公共保健政策論	2	2	後期	青柳美樹教授・髙畑陽子教授・非常勤講師
				応用疫学	2	1・2	前期	青柳美樹教授・髙畑陽子教授・田辺幸子准教授・横山加奈講師・伊藤裕子講師・長谷川奈々子助教・非常勤講師
				公衆衛生看護学実習	3	1	後期	髙畑陽子教授・青柳美樹教授・田辺幸子准教授・横山加奈講師・伊藤裕子講師・長谷川奈々子助教
				継続事例支援実習	1	1	後期	青柳美樹教授・髙畑陽子教授・田辺幸子准教授・横山加奈講師・伊藤裕子講師・長谷川奈々子助教
				特定集団支援実習	1	2	後期	青柳美樹教授・髙畑陽子教授・田辺幸子准教授・横山加奈講師・伊藤裕子講師・長谷川奈々子助教
				公衆衛生看護管理実習	3	2	前期	青柳美樹教授・髙畑陽子教授・田辺幸子准教授・横山加奈講師
				公衆衛生看護学総合研究	4	1〜2	通年	髙畑陽子教授・青柳美樹教授・田辺幸子准教授
専門科目	ウィメンズヘルス・助産学	ウィメンズヘルス・助産学	研究	ウィメンズヘルス特論	2	1・2	前期	大原良子教授・神谷摂子教授・非常勤講師
				周産期ケア特論	2	1・2	前期	大原良子教授・神谷摂子教授・非常勤講師
				ウィメンズヘルス演習・実習・実験	6	1	通年	大原良子教授・神谷摂子教授・近藤彩講師・勝村友紀講師
				ウィメンズヘルス特別研究	8	1〜2	通年	大原良子教授・神谷摂子教授
			高度実践	ウィメンズヘルス教育論	2	1・2	後期	神谷摂子教授・大原良子教授・非常勤講師
				ウィメンズヘルスマネジメント論	2	1・2	前期	神谷摂子教授・大原良子教授・非常勤講師
				周産期ケア実習	2	1	前期	神谷摂子教授・大原良子教授・近藤彩講師・勝村友紀講師・糟谷ちひろ助教
				ウィメンズヘルス高度実践実習	2	2	前期	神谷摂子教授・大原良子教授・近藤彩講師・勝村友紀講師・糟谷ちひろ助教
				ウィメンズヘルスマネジメント実習	2	2	前期	神谷摂子教授・大原良子教授・近藤彩講師・勝村友紀講師・糟谷ちひろ助教
				ウィメンズヘルス総合研究	4	1〜2	通年	大原良子教授・神谷摂子教授
				ライフサイクル助産論	2	1・2	前期	神谷摂子教授・近藤彩講師・非常勤講師
				周産期医学特論	2	2	前期	非常勤講師
				乳幼児支援特論	2	1	後期	神谷摂子教授・非常勤講師
				妊娠期助産論	2	1	前期	勝村友紀講師・大原良子教授・非常勤講師
				分娩期助産論	2	1	前期	神谷摂子教授・近藤彩講師・勝村友紀講師・非常勤講師
				分娩期助産論演習	2	1	前期	神谷摂子教授・近藤彩講師・勝村友紀講師・糟谷ちひろ助教・非常勤講師
				母子保健管理特論	2	1	前期	神谷摂子教授・吉野直人教授・非常勤講師
				ハイリスク助産管理論	1	2	前期	神谷摂子教授
				産褥期助産論	2	1	後期	神谷摂子教授・近藤彩講師・勝村友紀講師
				助産学実習	5	1	後期	神谷摂子教授・大原良子教授・近藤彩講師・勝村友紀講師・糟谷ちひろ助教
				助産学総合実習	4	1	後期	神谷摂子教授・大原良子教授・近藤彩講師・勝村友紀講師・糟谷ちひろ助教
				継続事例実習	2	1・2	後期	神谷摂子教授・大原良子教授・近藤彩講師・勝村友紀講師・糟谷ちひろ助教
				ハイリスク助産管理実習	2	2	前期	神谷摂子教授・大原良子教授・近藤彩講師・勝村友紀講師・糟谷ちひろ助教

2026年度　看護学研究科 博士前期課程 履修ガイド

区分	専門分野	研究分野	授業科目名(新)	開講年次	単位	開講時間	研究コース	専門看護師コース				認定看護管理者コース	ウィメンズヘルス・助産学		地域・国際看護学
								コース(認定単位)	がん看護	家族看護	老年看護	精神看護		研究コース	高度実践コース	高度実践コース
							必要科目		必要科目	必要科目	必要科目	必要科目	必要科目	必要科目	必要科目	必要科目
専門科目	共通科目		看護理論	1・2	2	30	8単位以上	共通A(2)	○	○	○	○	☆	8単位以上	8単位以上	
			看護倫理	1・2	2	30		共通A(2)	○	○	○	○	☆			
			看護管理論	1・2	2	30		共通A(2)	○	○	○	○	★			
			コンサルテーション論	1・2	2	30		共通A(2)	○	○	○	○	☆			
			医療ポルトガル語	1・2	2	30										
			看護学研究方法概論	1・2	2	30		共通A(2)	○	○	○	○				●
			看護学質的研究法	1・2	2	30										●
			多変量解析論	1・2	2	30										●
			調査研究法	1・2	2	30										●
			臨床薬理学	1・2	2	30		共通B(2)	●	●	●	●				○
			フィジカル・アセスメント	1・2	2	30	制限あり	共通B(2)	●	●	●	●				●
			病態生理学	1・2	2	30		共通B(2)	●	●	●	●				○
	看護基礎科学	基礎生体科学	感染看護論	1・2	2	30										●
			腫瘍病態学	1・2	2	30		がん(2)	●							
			ヒト分子遺伝学	1・2	2	30										
			基礎生体科学演習・実習・実験	1	6	180										
			基礎生体科学特別研究	1～2	8	240										
		基礎健康科学	運動生理学	1・2	2	30										
			家族社会学	1・2	2	30		家族(2)		●				○	○	●
			疫学	1・2	2	30										●
			ヘルスプロモーション論	1・2	2	30								○	○	●
			看護人間工学	1・2	2	30										
			基礎健康科学演習・実習・実験	1	6	180										
			基礎健康科学特別研究	1～2	8	240										
	総合看護学	看護基礎学	基礎看護学特論	1・2	2	30										
			看護援助・技術論	1・2	2	30										
			基礎看護学演習・実習・実験	1	6	180										
			基礎看護学特別研究	1～2	8	240										
		看護教育学	看護教育学特論	1・2	2	30										
			教育学特論	1・2	2	30										
			専門職教育論	1・2	2	30		共通A(2)	○	○	○	○				
			看護教育学演習・実習・実験	1	6	180										
			看護教育学特別研究	1～2	8	240										
		看護管理学	看護政策論	1・2	2	30		共通A(2)	○	○	○	○	★			
			看護経済・経営論	1・2	2	30							★			
			看護管理学演習・実習・実験	1	6	180										
			看護管理学特別研究	1～2	8	240										
			人的資源活用論	1・2	2	30	研究分野18単位以上 他分野6単位以上						★			
			看護組織ダイナミックス論	1・2	2	30							★			
			人的資源管理実習	1	2	90							★			
			医療の質・安全管理実習	2	2	90							★			
			財務管理実習	2	2	90							★			
			看護管理学総合研究	1～2	4	120							★			
	臨床看護学	成人慢性期看護学	成人慢性期看護学特論	1・2	2	30										
			成人内科系疾病論	1・2	2	30										
			成人慢性期看護学演習・実習・実験	1	6	180										
			成人慢性期看護学特別研究	1～2	8	240										
			がん看護理論	1・2	2	30	×	がん(2)	●							
			がん看護援助論	1・2	2	30	×	がん(2)	●							
			緩和ケア特論	1・2	2	30	×	がん(2)	●							
			緩和ケア方法論	1・2	2	30	×	がん(2)	●							
			がんリハビリテーション方法論	1・2	2	30	×	がん(2)	●							
			がん看護学導入実習	1	2	90	×	がん(2)	●							
			がん看護学展開実習	2	2	90	×	がん(2)	●							
			がん診断・治療学実習	2	2	90	×	がん(2)	●							
			がん緩和ケア・地域連携実習	2	2	90	×	がん(2)	●							
			がん看護学統合実習	2	2	90	×	がん(2)	●							
			がん看護学総合研究	1～2	4	120	×		●							
		成人急性期看護学	成人急性期看護学特論	1・2	2	30										
			術後侵襲論	1・2	2	30										
			周術期がんリハビリテーション看護論	1・2	2	30	×	がん(2)	●							
			成人急性期看護学演習・実習・実験	1	6	180										
			成人急性期看護学特別研究	1～2	8	240										
		小児看護学	小児看護学特論	1・2	2	30										
			養育期家族アセスメント・援助論	1・2	2	30		家族(2)		●						
			小児看護学演習・実習・実験	1	6	180										
			小児看護学特別研究	1～2	8	240										
			家族看護学特論	1・2	2	30		家族(2)		●						●
			家族と健康	1・2	2	30		家族(2)		●						●
			家族療法	1・2	2	30	×	家族(2)		●		○				
			家族看護援助論	1・2	2	30	×	家族(2)		●						
			家族看護学実践実習	1	4	180	×	家族(4)		●						
			家族看護学機能別実習	2	4	180	×	家族(4)		●						
			家族看護学総合実習	2	2	90	×	家族(2)		●						
			家族看護学総合研究	1～2	4	120	×			●						
	広域看護学	老年看護学	老年看護学特論	1・2	2	30		老年(2)			●					
			老年医学特論	1・2	2	30		老年(2)			●					
			老年看護学演習・実習・実験	1	6	180										
			老年看護学特別研究	1～2	8	240										
			高齢者生活評価論	1・2	2	30	×	老年(2)			●					×
			老年看護家族関係論	1・2	2	30	×	老年(2)・家族(2)		●	●					×
			在宅老年看護援助論	1・2	2	30	×	老年(2)			●					×
			認知症高齢者援助論	1・2	2	30	×	老年(2)			●					×
			老年看護学高度実践実習	1	4	180	×	老年(4)			●					×
			在宅老年看護学実習	2	2	90	×	老年(2)			●					×
			老年看護学統合実習	2	4	180	×	老年(4)			●					×
			老年看護学総合研究	1～2	4	120	×				●					×

区分	専門分野	研究分野	授業科目名(新)	開講年次	単位	開講時間	研究コース	専門看護師コース					認定看護管理者コース	ウィメンズヘルス・助産学		地域・国際看護学
								コース(認定単位)	がん看護	家族看護	老年看護	精神看護		研究コース	高度実践コース	高度実践コース
							必要科目		必要科目	必要科目	必要科目	必要科目	必要科目	必要科目	必要科目	必要科目
専門科目	広域看護学	精神看護学	精神看護学特論	1・2	2	30						●				×
			カウンセリング論	1・2	2	30								○	○	●
			精神看護学演習・実習・実験	1	6	180										
			精神看護学特別研究	1～2	8	240										
			臨床精神看護学特論	1・2	2	30	×	精神(2)				●				×
			精神健康評価論	1・2	2	30	×	精神(2)				●				×
			精神看護援助論	1・2	2	30	×	精神(2)				●				×
			臨床精神医学	1・2	2	30	×	精神(2)				●				×
			精神薬理学	1・2	2	30	×	精神(2)				●				×
			心理・社会的療法	1・2	2	30	×	精神(2)				○				×
			急性期精神看護論	1・2	2	30	×	精神(2)				○※1				×
			地域精神看護論	1・2	2	30	×	精神(2)				○※1				×
			精神看護学治療技術実習	1・2	2	90	×	精神(2)				●				×
			精神看護学導入実習	2	2	90	×	精神(1)				●				×
			精神看護学直接ケア実習	2	4	180	×	精神(4)				●				×
			急性期精神看護学実習	2	2	90	×	精神(2)				○※2				×
			地域精神看護学実習	2	2	90	×	精神(2)				○※2				×
			精神看護学統合実習	2	1	45	×	精神(1)				●				×
			精神看護学総合研究	1～2	4	120	×					●				×
		地域看護学国際	地域看護学特論	1・2	2	30										
			国際看護学特論	1・2	2	30								○	○	●
			在宅ケア論	1・2	2	30	研究分野18単位以上 他分野6単位以上	家族(2)		●						●
			老年保健福祉政策論	1・2	2	30		老年(2)			●					●
			精神保健医療システム論	1・2	2	30		精神(2)				●				
			地域・国際看護学演習・実習・実験	1	6	180										
			地域・国際看護学特別研究	1～2	8	240										
			公衆衛生看護学特論	1	2	15	×									●
			対象別保健指導論	1	2	15	×									●
			特定集団支援論	1	2	15	×									●
			保健指導技術演習	1	2	15	×									●
			コミュニティ・アセスメント演習	1	2	15	×									●
			公衆衛生看護管理論	2	2	15	×									●
			保健医療福祉行政論	1	2	15	×									●
			公共保健政策論	2	2	15	×									●
			応用疫学	2	2	15	×									●
			公衆衛生看護学実習	1	3	45	×									●
			継続事例支援実習	1	1	45	×									●
			特定集団支援実習	1	1	45	×									●
			公衆衛生看護管理実習	2	3	45	×									●
			公衆衛生看護学総合研究	1～2	4	30	×									●
	ウイメンズヘルス・助産学	ウイメンズヘルス・助産学	ウィメンズヘルス特論	1・2	2	30								●	●	
			周産期ケア特論	1・2	2	30								●	●	
			ウィメンズヘルス演習・実習・実験	1	6	180								●		
			ウィメンズヘルス特別研究	1～2	8	240								●		
			ウィメンズヘルス教育論	1・2	2	30	×								●	×
			ウィメンズヘルスマネジメント論	1・2	2	30	×								●	×
			周産期ケア実習	1	2	90	×								●	×
			ウィメンズヘルス高度実践実習	2	2	90	×								●	×
			ウィメンズヘルスマネジメント実習	2	2	90	×								●	×
			ウィメンズヘルス総合研究	1～2	4	120	×								●	×
			ライフサイクル助産論	1・2	2	30	×							※3		×
			周産期医学特論	2	2	30	×							※3		×
			乳幼児支援特論	1	2	30	×							※3		×
			妊娠期助産論	1	2	30	×							※3		×
			分娩期助産論	1	2	30	×							※3		×
			分娩期助産論演習	1	2	90	×							※3		×
			母子保健管理特論	1	2	30	×							※3		×
			ハイリスク助産管理論	2	1	15	×							※3		×
			産褥期助産論	1	2	30	×							※3		×
			助産学実習	1	5	225	×							※3		×
			助産学総合実習	1	4	180	×							※3		×
			継続事例実習	1・2	2	90	×							※3		×
			ハイリスク助産管理実習	2	2	90	×							※3		×
履修モデル(CNS)			専門看護師コース共通科目A						8	8	8	8				
			専門看護師コース共通科目B						6	6	6	6				
			専門看護師コース専門科目						14	16	14	14				
			専門看護師コース専門科目(実習科目)						10	10	10	11				
			専門看護師コース履修要件 合計						38	40	38	39				
			看護学総合研究						4	4	4	4				
			修了要件 合計						42	44	42	43				
			他研究分野専門科目6単位以上含めること													
履修モデル(CNS以外)			共通科目 合計				8						8	8	8	12
			必修科目(専門)				18						18	18	18	38
			他分野専門科目				6						6	6	6	12
			専門科目 合計				24						24	24	24	50
			高度実践コース選択科目												30	
			修了要件 合計				32						32	32	62	62

看護学研究科修了要件
1　共通科目から8単位以上、専門科目から24単位以上、計32単位以上修得
2　専門科目：研究分野から18単位以上、他分野から6単位以上修得

研究コース履修要件
1　共通科目に「制限あり」と表示された科目については、専門看護師コース履修者枠に空きがある場合のみ履修可能（入学時オリエンテーションにて情報提供する）
2　他分野の演習・実習・実験、特別研究は履修不可
3　×印は研究コースの院生は履修不可

専門看護師コース履修要件
1　専門看護師コース共通科目(共通A)から8単位以上選択修得
2　専門看護師コース共通科目(共通B)から6単位修得
3　実習科目から10単位以上修得
4　各領域指定の専門科目●印は必修科目・○印は選択科目
5　専門看護師コース（精神看護）は※1から１科目２単位選択修得、※2から対応する実習科目を２単位

認定看護管理者コース履修要件
1　★印は必修科目・☆印は選択科目

ウィメンズヘルス・助産学分野履修要件
1　共通科目から8単位以上選択修得
2　領域指定の専門科目●印は必修科目
3　他分野の専門科目○印は選択科目
4　※3科目を選択することにより助産師国家試験受験資格を取得することができる。

地域・国際看護学分野高度実践コース履修要件
1　●印は必修科目
2　○印は選択科目（2単位以上修得）

研究指導担当教員一覧　令和 8（2026）年度

専門分野	研究分野	研究指導教員	主たる研究指導テーマ
看護基礎科学	基礎生体科学	黒川景教授	がんゲノム医療と看護 看護教育課程における基礎医学教育の方法
		吉野直人教授	HIV 母子感染に関する臨床疫学研究 周産期感染症とその検査状況に関する研究
	基礎健康科学	箕浦哲嗣教授	バイオメカニクスに関する測定・数値シミュレーション 統計処理に関する分析・尺度開発 ネットワーク機器・サーバを利用するもの
		成定明彦教授	働く人の健康に関する研究 リアルワールドデータ（行政・健診・レセプトデータ）を用いた疫学研究
		牛島佳代准教授	公害・災害後の地域住民の Well-being に関する社会疫学研究 家族・地域の不安定性と子どもの健康・発達に関する研究 危機に瀕した家族・地域のレジリエンスに関する社会疫学研究
総合看護学	看護教育学・基礎看護学	井村香積教授	看護基礎教育から看護継続教育に関する研究 看護師の学習動機づけ、学習転移に関する研究 患者－看護師関係、患者－看護学生関係に関する研究
	看護管理学	河邉紅美教授	看護師の病院経営参画・病院経営 看護管理者育成・人材育成 看護師教育支援・看護補助者教育支援
		宇城令准教授	医療の安全性と質評価 専門職的自律性およびキャリア開発 看護および看護管理の可視化
臨床看護学	成人慢性期看護学	片岡純教授	がん患者の看護に関する研究 がん患者のエンパワーメント がん治療に伴う有害事象への看護に関する研究
		片平正人教授	糖尿病、内分泌疾患患者の臨床指標の解析 健診データを用いた数理モデルの構築
	成人急性期看護学	深田順子教授	周術期看護、摂食嚥下障害看護、がんリハビリテーション看護 手術療法・放射線療法を受けるがん患者の看護 看護アセスメントの尺度開発
	小児看護学	服部淳子教授	入院中の子どもに対するプレパレーション 障がいを持つ子どもに対するプレパレーション 家族アセスメント・介入に関する研究

専門分野	研究分野	研究指導教員	主たる研究指導テーマ
広域看護学	地域・国際看護学	青柳美樹教授	コミュニティ（地域、職域）における看護活動（生活習慣病予防、ストレスマネジメント、ポジティブメンタルヘルス、など） 高齢者介護予防に関する研究 渡航者支援を含むGlobal Health Nursingに関する研究
		髙畑陽子教授	保健師活動の可視化に関する研究 疾病の予防に関する研究 健康増進に関する研究 在宅看護アセスメントツールの開発
	老年看護学	藤野あゆみ教授	高齢者看護、高齢者看護における倫理的課題 病院および高齢者施設スタッフに対する継続教育 認知症高齢者および要介護高齢者を介護する家族の支援
	精神看護学	山田浩雅教授	精神障がいを持つ方への看護および家族の支援に関する研究 精神領域における病院・施設における人的・物理的事象に関する研究 メンタルヘルスリテラシー教育に関する研究
ウィメンズヘルス・助産学		大原良子教授	妊婦、産婦、褥婦、新生児への助産ケアに関する研究 育児期の母子に関する研究 助産学教育に関する研究 臨床における助産師の能力向上のための介入研究
		神谷摂子教授	妊産褥婦とその家族への助産ケア、女性の健康問題に対する支援 助産師教育に関する研究 産後ケア・育児支援について、継続家庭訪問・継続支援に関する研究 妊娠・出産・産後および助産師活動の国際比較に関する研究

令和9（2027）年度　愛知県立大学大学院　看護学研究科　博士前期課程（二次募集）　入学願書　　様式２

愛知県立大学長　殿

記入例

受験番号	※（記入しない）		前

私はこのたび貴大学大学院看護学研究科博士前期課程に入学したいので、必要書類等を添えて出願します。

2026年12月16日

フリガナ　モリヤマ　ハナコ
氏　名　守山　花子　　男・女

西暦で記入 ⇨ 生年月日　2004年　7月　1日　（満 22歳）　※2027年4月1日現在

志望する研究分野とコースをプルダウンから選択

志望する研究分野・コース（〇で囲む）	研究分野	ウィメンズヘルス・助産学	
	☐ 研究　☐ 認定看護管理者 ☐ 専門看護師　☑ 高度実践		
	志望する研究指導教員	P21－22参照 ⇨ 〇〇先生	
	面談日：	2026年　12月　15日	

	一般	専門
最終学歴 注）	西暦　年　月　☐ 卒業　☐ 卒業見込 ☐ 学位授与　☐ その他	西暦で記入 ⇨ 2027年3月　☐ 卒業　☐ 卒業見込 ☐ 学位授与　☐ その他
	大学　学部	守山　大学　看護　学部
	学科　専攻	学科　専攻
	学位授与機構　学士	看護専門学校　学校
		その他

連絡先	郵便番号	４６３－８５０２
	現住所（都道府県から記入）	愛知県名古屋市守山区上志段味東谷 モリヤマシダミコーポ101
	電話番号	０５２－７７８－７１０１
	E-mail	〇〇〇〇@△△.□□.ｊｐ
緊急時の連絡先	郵便番号	
	住所（都道府県から記入）	
	電話番号	

希望する入試方式
☑ 一般選抜　☐ 社会人特別選抜
記入例は英語を用いる一般選抜です。

受付年月日　※　年　月　日

注）看護系大学（学部）・看護系専門学校の方は「専門」欄に、
それ以外の大学の方は「一般」欄に記載してください。
また、「その他」を選んだ方は「一般」「専門」を問わず、
「その他」欄に詳細を記載してください。

一部、プルダウン選択や自動入力される入力欄があります。

前

令和9（2027）年度
愛知県立大学大学院
看護学研究科

受　験　票

受験番号	※（記入しない）
フリガナ	モリヤマ　ハナコ
氏名	守山　花子
生年月日	2004年　7月　1日
入試方式	一般選抜
志望する研究分野	ウィメンズヘルス・助産学

注意事項

1　受験票は大切に保管し、受験の際は必ず携帯してください。
2　試験当日は、決められた時間までに集合してください。
3　受験票は試験中、常に机の上においてください。

注：※印の欄は記入しないでください。

試験実施日：　令和9（2027）年2月13日（土）
集合時刻：　午前10時15分

試験時間割	
英語／小論文	10時30分～11時30分
志望別看護学	12時00分～13時00分
面接	14時00分～

令和9（2027）年度
愛知県立大学大学院
看護学研究科
入学検定料納付証明書貼付票

前

受験番号
※（記入しない）

入学検定料納付証明書を
この欄にのり付けしてください。

入学検定料　30,000円

令和9（2027）年度
愛知県立大学大学院
看護学研究科
照合写真票

前

写真貼付欄
4cm×3cm

（全面のり付けし、裏面に志望研究科（専攻）、氏名を記入）

受験番号	※（記入しない）
フリガナ	モリヤマ　ハナコ
氏名	守山　花子
生年月日	2004年　7月　1日
入試方式	一般選抜
志望する研究分野	ウィメンズヘルス・助産学
出　欠 欠のみ ×印	※

注：※印の欄は記入しないでください。

入学願書等記入上の注意

1　出願書類はパソコン入力・自筆のいずれも可としますが、パソコン入力の場合は記入欄のサイズやレイアウトは変更しないでください。自筆の場合は黒のボールペンを使用し、楷書で丁寧に記入してください。
2　記入ミスをしたときは、誤記した文字に二重線を引き、その上の空欄に正しい文字等を記入してください。

各項目の記入方法等

◆ 入学願書

1　一番上の欄は、書類作成日、氏名、フリガナ、生年月日、満年齢を記入し、性別を〇で囲ってください。
※印の欄は記入しないでください。
年齢は令和9（2027）年4月1日現在の年齢を記入してください。

2　志望する研究分野・コース欄
入学後志望する研究分野をプルダウンから選択、志望するコースをプルダウンでください。

3　希望する研究指導教員名欄
21、22ページ参照して希望する研究指導教員を選択してください。
なお、希望する指導教員の事前相談が必須となりますので、7月15日（水）までに完了してください。

4　最終学歴欄

卒業（見込み）の学校名及びその年月を西暦で正確に記入してください。
最終学歴は看護系大学（学部）・看護系専門学校の方は「専門」欄に、それ以外の方は「一般」欄に記載してください。また、「その他」を選んだ方は「一般」「専門」を問わず「その他」欄に詳細を記載してください。

5　連絡先欄
郵便番号、住所、電話番号及び電子メールアドレスを記入してください。住所欄には、確実に連絡を受けられる住所を都道府県から記入してください。また、団地、マンション等に居住している者は、棟番号・戸番まで必ず記入し、下宿の場合は、〇〇方と記入してください。

6　緊急時の連絡先欄
緊急に連絡する場合の連絡先が上の連絡先住所、電話番号と異なる場合にのみ記入してください。同一の場合は、何も記入しないでください。

7　希望する入試方式欄
一般選抜（英語）と社会人特別選抜（小論文）から受験する方式を選択してください。

8　受付年月日欄
受付年月日は何も記入しないでください。

◆ 受験票

全項目自動反映されますが、提出前に入力内容を確認し、間違いないことを確認の上で提出してください。
※印の欄は記入しないでください。

◆ 入学検定料納付証明書貼付票

出納済印が押印された入学検定料納付証明書（氏名、フリガナを記入のこと。）を貼付欄内にのり付けしてください。
※印の欄は記入しないでください。

◆ 照合写真票

全項目自動反映されますが、提出前に入力内容を確認し、間違いないことを確認の上で提出してください。
※印の欄は記入しないでください。

＜スマホ・携帯電話サイトによる合格者受験番号情報の提供について＞

合格発表は、本学構内に掲示することにより実施します。

このサイトによる情報の提供は、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが入学許可通知書及び学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

下記URL(携帯電話・スマートフォン・パソコン共通)にアクセスしてください。

https://daigakujc.jp/aichi-pu/

携帯電話・スマートフォンで読み取れます。

入学試験の種類		提供開始日	提供終了日
大学院看護学研究科	博士前期課程	令和９（2027）年 ２月 27 日（土）	令和９（2027）年 ３月６日（土）
	博士後期課程	令和９（2027）年 ２月 27 日（土）	令和９（2027）年 ３月６日（土）

◆注意◆

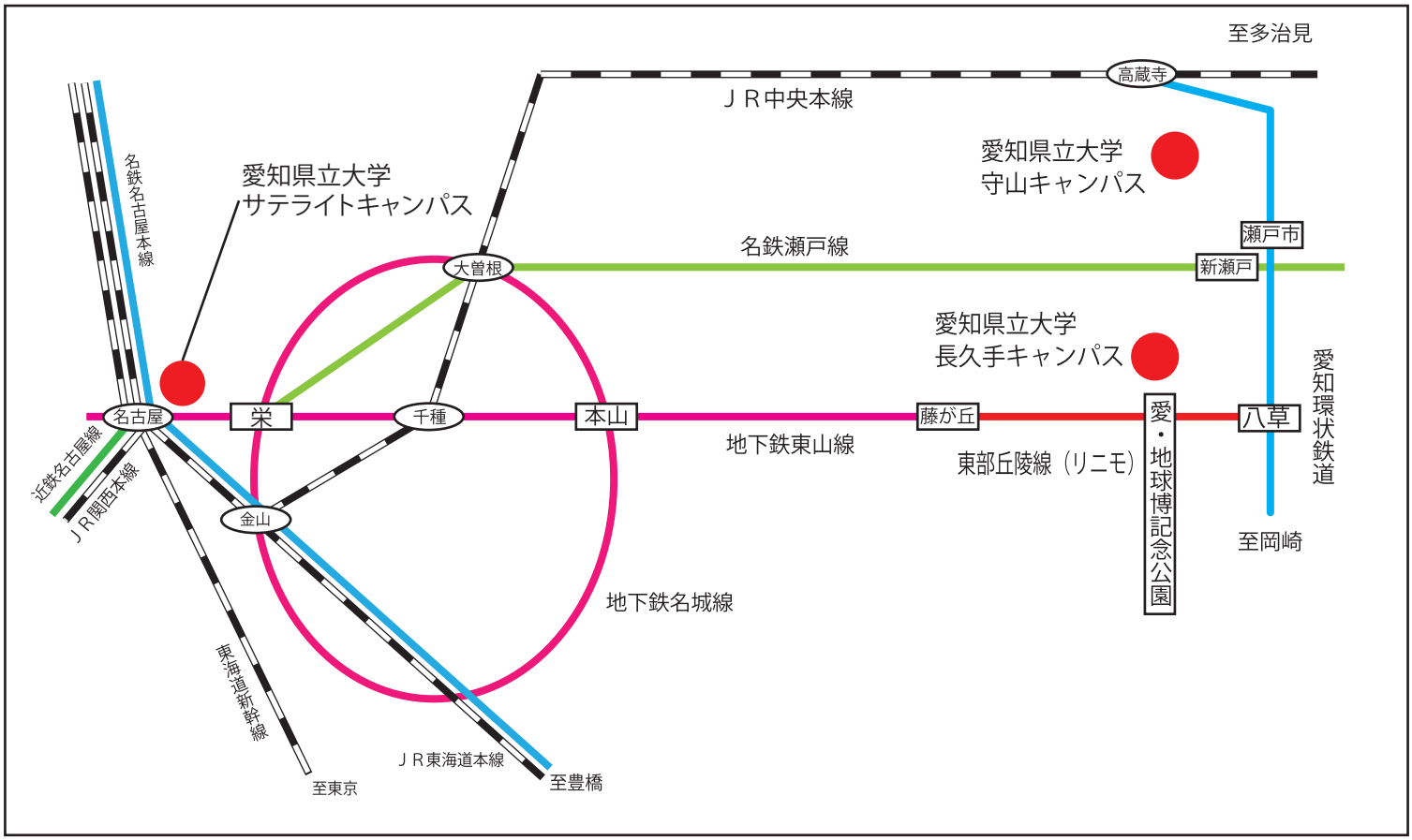
１　この情報提供は、学内掲示による発表時刻から利用することができます。

２　本情報提供の「誤作動」や「情報の読み違い」等を理由とした入学手続の遅延は認めません。

〈本学近辺における勧誘等にご注意ください〉

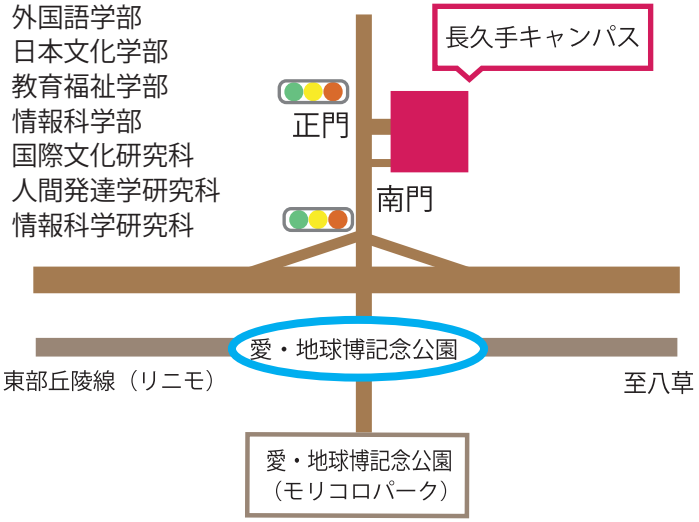
本学近辺、高蔵寺駅周辺等での合否電報の受付、アンケート及び勧誘等は、本学とは一切関係ありません。したがって、これらによるトラブルには一切関知しませんので十分注意してください。

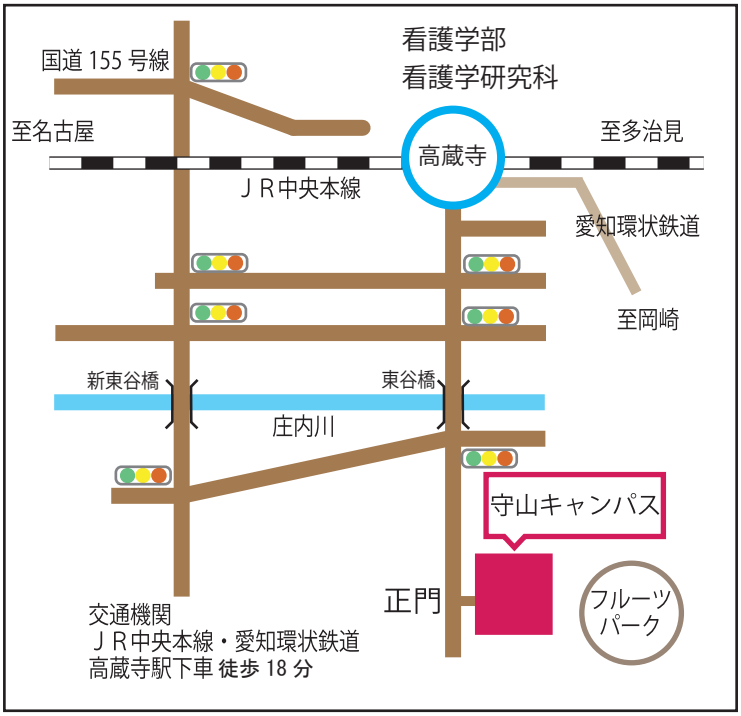
愛知県立大学案内図



交通機関
東部丘陵線（リニモ）
愛・地球博記念公園下車徒歩 3 分

外国語学部
日本文化学部
教育福祉学部
情報科学部
国際文化研究科
人間発達学研究科
情報科学研究科





○愛知県立大学　スマホ・携帯電話サイト

本学の各種情報が携帯電話・スマートフォンでも見られます。
https://daigakujc.jp/aichi-pu/

詳細は移動後のページでご確認ください。

大学公式 WEB サイト
https://www.aichi-pu.ac.jp/

【お問い合わせ先】（9:00 ～ 17:30/ 土日祝日を除く）

●長久手キャンパス
〒480-1198（個別郵便番号）
愛知県長久手市茨ケ廻間 1522 番 3
TEL　0561-76-8813（入試課）

●守山キャンパス
〒463-8502（個別郵便番号）
名古屋市守山区上志段味東谷
TEL　052-778-7101（守山学務課）